

スポーツYAMATO



命名「どら焼き投法」だ

おおおお



東京富士大学とのオープン戦に先発した大依春奈。5回を投げて無失点に抑える好投。大好物のどら焼きパワーで相手打線をねじ伏せた。大串、斉藤に次ぐ投手として名乗りを上げた。後半戦に向けて期待が膨らむ。

東京富士大学・清和大学に連勝

前半戦の激闘を終えて一旦調整期間を経て練習を再開。今月末に行われる全日本総合北信越予選に向けて徐々にムードが高まってきた。リーグ戦後、初のオープン戦が6月5日、東京富士大学のグラウンドで行われた。この日は、車、堀、大串の3人は調整中の為、試合には出場せず、若手主体のメンバーで試合が行われた。東京富士大学との一戦に先発をしたのは背番号1を背負う大依春奈。後半戦を戦う上で大串、斉藤に次ぐ第3の投手は絶対が必要だ。多彩な変化球を持ち、大串、斉藤とはタイプの違う大依は相手打線のタイミングを狂わすピッチングに長けているため、杉野監督の期待も大きい。後半戦は暑さとの体力的な戦いも強いられるので左右両エースの負担を軽減させる上でも大依の台頭はチームにとっても願いたいところだ。

宮崎好リード

その大依だが期待通りのピッチングを披露し、杉野監督を喜ばせた。東京都3位でインカレ出場を決めている東京富士大学打線を5回無失点に抑える好投で結果を残した。多彩な変化球を武器に打たせて取るピッチングは大依の真骨頂。球速は80キロ後半のため相手打線が打ち気になっているところで得意のスライダーがこの日は冴えわたった。力だけがピッチングではない事を大依は証明して見せたと言えるだろう。大依が好物の「どら焼き」にあやかり、「どら焼き投法」と命名。後半戦はこの「どら焼き投法」がチームのピンチを救う。

らの配球は大学時代に培った経験だろう。後半戦は投手に加え、捕手も消耗する戦いが想定される。宮崎が実戦で結果を残し、捕手としても計算が立ったことは大きな収穫だろう。



今後の予定

- 6月12日(日) オープン戦
 - vs 城西大学
 - vs 東北福祉大学
- 6月18日(土) オープン戦
 - vs シトリン一宮
 - vs 東海学園大学
- 6月25日、26日 全日本総合北信越予選
- 7月1日〜3日 日本リーグ交流節 オールスター戦